

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

B区分

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんすたーだんさーず・ぼれえだん		
	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 法眼健作		
制作団体所在地	〒107-0062		
	東京都港区南青山 2-22-4（東京メトロ銀座線外苑前駅）		
電話番号	03-3401-2293	FAX番号	03-3401-2252
ふりがな 公演団体名	すたーだんさーず・ぼれえだん		
	スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	総監督 小山久美		
公演団体所在地	〒107-0062		
	東京都港区南青山 2-22-4（東京メトロ銀座線外苑前駅）		
制作団体 設立年月	昭和56(1965)年 3 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 法眼健作 常務理事 小山久美 その他理事 4名 監事 1名 評議員 5名 事務職員 4名	1) 団体構成員 50名 2) 主な構成員 【総監督】小山久美 【バレエ・ミストレス】小山恵美 【バレエ・マスター／常任振付家】鈴木稔 【団員】渡辺恭子、塩谷綾菜、池田武志、林田翔平 他 加入条件：総監督、バレエ・ミストレスらの審査による。	

事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	小山久美、平野友里恵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	須藤陽子

制作団体沿革	太刀川瑠璃子を代表として昭和40年に創立。昭和56年には日本のバレエ団初の財団法人化を果たし、平成24年に公益財団法人となった。 邦人振付家の作品の上演に力を注ぐ一方、アントニー・チャーダーをはじめとする海外の優れた近代バレエ作品を日本に紹介し、常に日本のバレエ界の発展を念頭に歩みを進めてきた。これまで年2～3回の自主公演、文化庁の移動芸術祭・青少年芸術劇場を実施し、近年では戦略的芸術文化創造推進事業やその他のワークショップやアウトリーチ等、普及活動にも積極的に取り組んでいる。海外公演は昭和61年北京での日中合同公演、平成5年 ソウル国際 舞踊祭、平成14年ドイツ・ハイルブロン市立劇場招聘公演、平成19年上海・南京公演、平成22年上海万博公演、令和元年パリJapan Expo公演等の実績がある。令和2年には創立 55周年を迎えた。				
学校等における公演実績	芸術鑑賞教室 学校からの依頼による「芸術鑑賞教室」を実施。 ＜実績例＞ 平成17年「ジゼル」東京女学館 昭和女子大学人見記念講堂 平成18年「ジゼル」吉祥女子中学高等学校 府中の森芸術劇場 平成23年「コッペリア」東京女学館 ゆうほうとホール 平成29年「ジゼル」跡見学園中学校・高等学校 東京文化会館 ワークショップ等アウトリーチ活動 子どもを対象としたアウトリーチ活動を展開。 ＜実績例＞ 平成17～26年度 東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校などでワークショップや小規模公演を実施。 平成26年度～継続 小田原市内小学校にて公演及びワークショップを実施。 平成27年度～継続 特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）」において小学校でのワークショップを担当。				
特別支援学校における公演実績	■ 平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」において1校実施。 実施校：北海道余市養護学校しりべし学園分校 ■ 平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演）」において1校実施。 実施校：兵庫県篠山市立篠山養護学校 ■ 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において1校実施。 実施校：福井県立奥越特別支援学校 ■ 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において1校実施。 実施校：福井県立南越特別支援学校 ■ 平成28年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において2校実施。 実施校：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校、富山県立にかわ総合支援学校 ■ 平成29年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において2校実施。 実施校：北海道鷹栖養護学校、岩手県立宮古恵風支援学校 ■ 平成30年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において2校実施。 実施校：茨城県立霞ヶ浦豊学校 このほか、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラム「We Ballet!（ウィー・バレエ）」を開発し、平成28年より実施している。				
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有		
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有		
		※公開資料有の場合URL	第1部	https://www.youtube.com/watch?v=QWTT0iZ-NSI	
			第2部	https://www.youtube.com/watch?v=AUwg8In6fRM	
			https://www.kodomogeijijutsu.go.jp/video/dance/b19.html		
	Aの提出が困難な場合	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
			PW:		
		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料			
		※公開資料有の場合URL			
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
	PW:				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 スターダンサーズ・バレエ団】

対象	☐	小学生(低学年)	☐	中学生
	☐	小学生(中学年)		
	☐	小学生(高学年)		
企画名	シンデレラ			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	第1部「バレエって何だろう」 構成・演出 小山久美 第2部「舞台をみてみよう」 『シンデレラ』 原作:シャルル・ペロー 作曲:セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付:鈴木稔		公演時間(80～100 分) 	
著作権	☐	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	●体育館の舞台を前方に張り出して拡張、劇場のように照明機材を設置し、本格的な舞台空間のなかでバレエをお楽しみいただけます。舞台を拡張することで、フロアに座る全ての児童・生徒たちにとって鑑賞しやすい環境を作ります。 第1部「バレエってなんだろう」 バレエについて実演を織り交ぜながらやさしく説明し、次に続く第2部の作品が細部までよく理解できるよう導きます。児童・生徒による体験コーナーもあります。 第2部「シンデレラ」 子どもにも親しみやすい演目として「シンデレラ」を上演します。美しいプロコフィエフの音楽や見どころはそのままに、ダイジェスト版として約 45 分にまとめました。途中にはあらすじ解説も組み込まれるので、どなたでも安心してお楽しみいただけます。意地悪なお姉さんたちの愉快なシーンや、涙がほろりとするような心に響くラストシーンなど、起伏に富んだ演出で児童・生徒を飽きさせることなく、常に大きな満足感を与えています。			
演目選択理由	●1部、2部を通して、「人と人が心を通い合わせることの素晴らしさ」をテーマに演目を選択しました。言葉に頼らない表現形態であるバレエならではの、頭で理解するのではなく心で感じる体験を通して、豊かな心を育む一助となることを願っています。 ●「シンデレラ」は、そのストーリーに誰もが一度は触れたことがあり、非常にわかりやすい演目です。バレエに馴染みのない人でも無理なく楽しんでいただけたと考え選択しました。 また、「シンデレラ」の物語には、喜びや悲しみ等の様々な感情が含まれます。身体の動きと表現を通して喜怒哀楽を心で感じることができるため、子どもたちの想像力を刺激し、伸ばすために最適な演目と考えます。			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	【小学生との共演】 「シンデレラ」の一場面、十数名の児童がダンサーたちと一緒に舞台上上がり、演技に参加します。12時の鐘とともに魔法がとけて逃げ出したシンデレラを、王子が残された靴を片手に探すシーンで、王子が児童の皆さんにもシンデレラの行方を聞いて回る、という設定です。事前のワークショップではこのシーンに取り組み、それぞれの個性や能力が発揮できるよう振付家が指導します。児童の皆さんが身体表現を体験し、ダンサーたちと共演して学校オリジナルの『シンデレラ』を創り上げたいと考えています。 また、ワークショップで学んだ踊りを舞台上で選抜メンバーが発表する機会もあります。 【中学生との共演】 公演の一部として、生徒たちによるダンスを舞台で発表していただきます。事前のワークショップにおいてダンスの基礎を学びながらひとつの踊りとして完成させ、それをバレエ団とともに観客の前で上演します。ダンスの特性やリズムの特徴をとらえ、スペースの使い方など互いに気を配りながら、皆で踊る楽しさを味わってもらうよう導いていきます。 【その他の参加・体験】 バレエの動きを紹介する公演の第1部では、数名の児童・生徒による体験コーナーを設けています。小学生は男性に高く持ち上げられるリフト、中学生は男性が女性をエスコートして支えるパートナーリングに挑戦してみます。  			
出演者	スターダンサーズ・バレエ団員(別紙参照)			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 30 名 スタッフ: 25 名 合 計: 55 名		機材等 運搬方法 積載量: 4 t 車 長: 10 m / 車高 3.80 m 台 数: 2 台	

【公演団体名 スターダンサーズ・バレエ団 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。									
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間		6	時間程度				
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出				
	8:00	8:00～12:30	13:30～15:10	10分	15:30～18:00	18:00				
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。										
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		約50名(100名程度でも実施可能です)							
	本公演		上限なし(収容できる範囲)							
ワークショップ 実施形態及び内容	講師 計6名(振付・演出家1名、指導助手5名) 対象人数 上限約50名 ただし、クラス単位、学年単位など選別方法は学校側にお任せし、50名以上での参加をご希望の場合は可能な限り対応します。 内容 ① 自己紹介、バレエのデモンストレーション(バレエってどんなもの?) ② バレエの挨拶、ポジションや動きに挑戦してみよう! ③ バレエの表現方法とは?(セリフつき、ジェスチャーのみ、バレエの3パターンでのお芝居を通して、言葉のないバレエの表現方法を理解する) ④ 実際に身体を使ってやってみよう!(バレエのステップに挑戦) ⑤ 本公演「シンデレラ」共演者の選抜 まずはダンサーの実演を間近で見て身体による表現を理解していただき、次は一緒に楽しく身体を動かしていきます。そして、その動きを取り入れながら、公演で共演する部分を創り上げていきます。									
ワークショップ 実施形態の意図	・バレエにおける知識を活用して、児童・生徒の皆さんのがのびのびと自由に表現できるように指導します。「言葉で伝えること」と「身体で伝えること」、その伝わり方の違いを感じることによって、コミュニケーション能力を刺激することを狙います。 ・本公演で出演する児童・生徒にとっては、照明や装置が入った大きな舞台でダンサーたちと共演し、さらに観客の前で自分を表現することは貴重な体験になるでしょう。「自分の表現が人にわかってもらえるように」工夫し、見る側にとっては「人の表現をわかってあげようとする」ことがポイントです。人と人が気持ちを伝えて分かり合える喜びを共有したいと思っています。									

特別支援学校での 実施における工夫点	本公演について ・第2部の「シンデレラ」は十分にわかりやすく誰でも楽しめる内容に創られているため、これまで担当した特別支援学校においても同様 に上演しています。児童生徒の共演部分については、各校のご希望を伺った上で有無を決定します。 ・第1部はご相談の上、時間を短縮して上演します。体験コーナーでは、腕や手を使って着席したままできる身体表現を全員で体験し、第2部の鑑賞へとつなげます。 ワークショップについて ・ワークショップでは、ダンサーの実演を間近で見、音楽に合わせて一緒に身体を楽しく動かします。研修・経験を重ねた指導者が担当しますのでご安心ください。 ・指導者(ダンサー)と触れ合う時間をとるなど、学校側のご希望に柔軟に応じて適切なプログラムを構成することが可能です。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

別紙 メンバー表 (B区分)

解説	1	小山久美
ダンサー ＜内29名＞ （一部交替出演）	2	愛澤佑樹
	3	秋山和沙
	4	荒蒔礼子
	5	池田武志
	6	井後麻友美
	7	石川聖人
	8	石山沙央理
	9	岩崎醇花
	10	榎本文
	11	海老原詩織
	12	岡田夏希
	13	小澤倖造
	14	加地暢文
	15	柏知里
	16	角屋みづき
	17	金子紗也
	18	喜入依里
	19	久野直哉
	20	鴻巣明史
	21	早乙女愛穂
	22	佐野朋太郎
	23	塩谷綾菜
	24	杉山桃子
	25	鈴木優
	26	鈴木就子
	27	関口啓
	28	田中絵美
	29	谷川実奈美
	30	玉村都
	31	飛永嘉尉
	32	富岡玲美
	33	友杉洋之
	34	仲田直樹
	35	西澤優希
	36	西原友衣菜
	37	野口熙子
	38	橋本まゆり
	39	林田翔平
	40	東真帆
	41	フルフォード佳林
	42	前田望友紀
	43	水谷仁
	44	南亜紗子
	45	宮司知英
	46	森田理紗
	47	山内優奈
	48	若宮嘉紀
	49	渡辺恭子
	50	渡辺大地



スターダンサーズ・バレエ団



ねん たちかわるりに そろいつ とろし
1965年、太刀川瑠璃子により創立。当時のスターダンサーを集めた公演をプロデュースしたことがきっかけ
たんしやう かいめい かげおお にほんしよえんまぐひん ふく いよくてき ごうえんかつどう たい ぶようしやう
誕生したことから命名されました。数多くの日本初演作品を含む意欲的な公演活動に対し、ニムラ舞踏賞、
ぶようひむやうかきようかいしやう じしやう ごてん げんたい せかいてきめいさく かげかぜ じやえん いっぽう にほんじんふりつけ
舞踊批評家協会賞などを受賞。古典から現代バレエの世界的名作の数々を上演する一方、日本人振付家によ
あたら ざくひん はっぴやう つつ かいめいごうえん じっせき おお ちゅうごく かんごくごうえん ねん
る新しい作品も発表し続けています。海外公演の実績も多く、ドイツ、中国、韓国公演のほか、2019年にはパ
りの「ジャパニエキスポ」においてバレエ「ドラゴンクエスト」を上演し好評を博しました。近年は、障がいのあ
かた きがる かんしやう かつてん びやうかんじや とく しゃがい ひろ
る方が気軽に鑑賞できる公演やパーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くか
かわる活動も積極的に行っています。

知っていますか？ 10月1日は「国際音楽の日」です

ねん とうせい せつりつ かくさいばんがく かいげ よくとし ねん まいとし かつついでち せかい
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の
ひとびと おんがく つう たが なかよ ごうりやう ふく かくさいばんがく ひ
人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり 交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
にほん ねん まいとし かつついでち かくさいばんがく ひ ざだ
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度

ふんかけいいじゅつ

文化芸術による 子供育成総合事業

こどもいくせいそごうじぎょう

しやんかいごうえんじぎょう

巡回公演事業 | スターダンサーズ・バレエ団〈バレエ公演〉



わ く に いちりゅう ぶんかけいいじゅつだんたい しやうからごう ちゅうかつごうなど こうえん ことま すぐ ぶたいびいじゅつ かんしやう しゃかい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ること
こども はっせりよく のうりよく いくせい しやうらい けいじゅつか いせかい ごくみん けいじゅつかんしやうのうりよく ごうじやう
により、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげる
もくてき
ことを目的としています。

じぜん じつせんしどうまた かんしやうしどう おこな
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
じつせん ことま せんか
また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



第1部

バレエって
なんだろう？

第2部

舞台をみて
みよう

『シンデレラ』

スタッフ

解説とお話：山久美

演出：山久美（第1部）

演出・振付：鈴木 聡（第2部）

演出補：山恵美

大道具：東宝舞台株式会社

衣裳：大山美民

照明：山本英明

音楽：Art Studio Y's

舞台監督：廣瀬次郎

制作

公益財団法人スターダスト・ダンス・バレエ団



演出・振付：鈴木 聡

PHOTOS

At Co.,Ltd.and Kiyonori Hasegawa

第1部

バレエってなんだろう？



バレエって何でしょう？

バレエは、音楽、美術、演劇とらなる舞踊という芸術のひとつです。

そして舞踊は言葉と同じように、人間の喜びや悲しみ、愛や力を表現する手段なのです。

皆さんの周りのもっと小さな子供たちを見てみてください。飛び上がって喜んだり、足をバタバタさせて怒ったりしていませんか。身振りが感情を表しているでしょう、それがつまり舞踊なのです。

日本で生まれた舞踊は、能や歌舞伎や日本舞踊になり、西洋ではバレエとなったのです。

このように西洋の舞踊であるバレエは、今から400年以上前にイタリアで生まれ、バレエが大好きなイタリアのお姫様がフランスの王様にお嫁入したことがきっかけで、フランスに移ります。フランスでは特にルイ14世が熱心にバレエに取り組み、バレエ学校が作られ、また

トウシューズやチュチュという軽やかな衣裳も生まれました。その後バレエの中心はロシアへ移り、ロシアの作曲家チャイコフスキーの音楽で「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」という3大バレエができたのです。

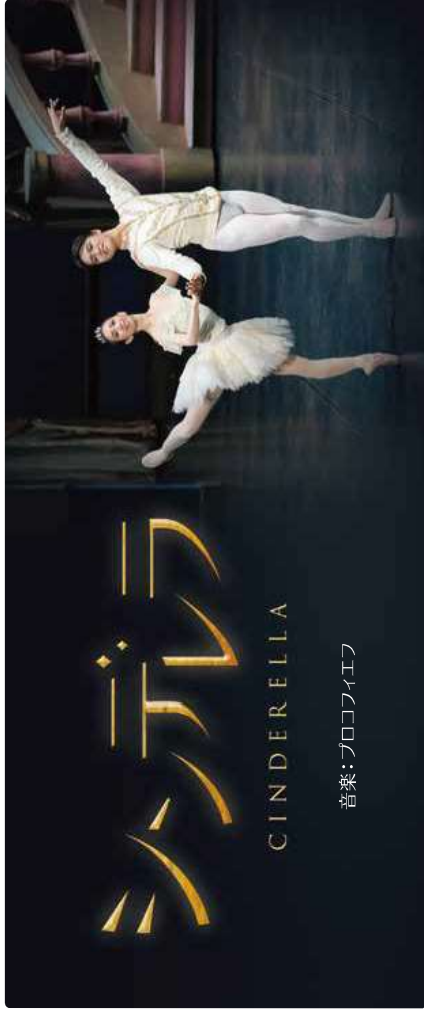
今ではバレエは世界中に広まり、フランスやロシアで生まれた古典作品とともに、時代を反映した新しい作品もどんどん作られ、多くの人々に楽しまれています。

キャスト

シンデレラ	王子	姉妹	仙女	妖精たち	臣下	貴族たち
荒崎礼子	池田武志	島入依里	角屋みつぎ	鈴木就子	秋山和沙	金子紗也
渡辺恭子	加地暢文	西原友衣菜	井後麻友美	田中絵美	荒崎礼子	前田望友妃
森田理紗	林田翔平	橋本まゆり	若崎静花	富岡玲美	石山沙央理	愛澤佑樹
（交替出演）	（交替出演）	（交替出演）	（交替出演）	（交替出演）	（交替出演）	（交替出演）
渡辺恭子	宮司知英	フルフォード佳林	海老原詩織	森田理紗	岡田夏希	小澤伴造
鈴木優	（交替出演）	（交替出演）	早乙女愛穂	（交替出演）	野口照子	仲田直樹
			堀谷結菜	鈴木優	柏知里	水谷仁
			東真帆		和野間太郎	宮司知英
			和野間太郎		久野直哉	和野間太郎
			和野間太郎		佐野間太郎	和野間太郎
			和野間太郎		和野間太郎	和野間太郎

第2部

舞台をみてみよう



音楽：プロコフィエフ

心のやさしい美しい娘シンデレラは、いじわるな姉たちに召使のようにこき使われ毎日忙しく働いていました。ある日姉たちはお城の舞踏会に招かれ、その準備に胸をときめかせています。やがて姉たちがシンデレラを一人残し舞踏会に出かけてしまうと、寂しそうなシンデレラのもとに仙女があらわれます。そしてシンデレラのみずばらしい服をドレスに変えると言いました。「魔法は真夜中の12時にとけてしまいます。忘れないうで…」



2人の姉が到着したお城では王子を囲み舞踏会が始まっています。そこへシンデレラが入ってくると、あまりの美しさに王子はひと目で恋に落ちてしまします。姉たちもまさかこの美しい娘がシンデレラとは思いません。

幸せにつままれて王子との踊りに夢中になってしまったシンデレラ。そこへ12時を打つ時計の音が響きます。シンデレラは慌ててお城を飛び出し、その途中靴を片方落としてしまいました。後を追った王子は残された靴を片手に、愛するシンデレラを探すことを決意します。

街中を訪ね歩き探し回った末、ついに王子はシンデレラの家にやってきました。何とか靴を履いてみようとして競ってケンカを始めた姉たちを、思わず止めに入ったシンデレラが落としたものは…



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A7	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	A	区分	B区分
公演団体名	スターダンサーズ・バレエ団				制作団体名	公益財団法人 スターダンサーズ・バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	2室	条件	男性、女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	2台	電源車	1台	不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			車長 10m／車高 3.80m				可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可
	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない通路が望ましい。				可
	理由			機材、大道具等の搬入をするため。				
	設置階の制限 *			2階以上不可(搬入口と同じ階にあること)				可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		可
WSIについて	参加可能人数		基本は50名ほど。柔軟な対応は可能。					可
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	低学年のみは不可			可	
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		舞台設営後に収容できる人数					可
	舞台設置場所 *		体育館のステージ上					不可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	指定なし	奥行	5.45m以上	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	演出上の理由による			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要			—	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		問わない			—
	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量			—	
その他特記事項							応相談	
設置舞台は体育館の舞台からせり出す形となるため、舞台自体の奥行は「体育館の舞台+5.45メートル」となります。体育館の舞台がなくても対応は可能です。従って参加可能人数も体育館の広さによって異なりますが、可能な限りお応えしますのでお気軽にご相談ください。								

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

